



気管支喘息について No4

話題の新薬 アジレクト錠

喘息の重症度

喘息の重症度は4段階に分けられます。軽症と重症では症状も大きく違いますし、治療も大きく異なります。ガイドラインに沿って、症状の程度や呼吸機能の結果によって医師が重症度を判断し、それにあった薬の種類や量を選びます

① 軽症間欠型

頻度: 週1回未満

症状: 軽度で軽い

夜間発作: 月に2回未満

%PEV1: : 80%以上、変動20%未満

② 軽症持続型

頻度: 週1回以上だが、毎日ではない

症状: 月1回以上、日常生活や睡眠が妨げられる

夜間発作: 月に2回以上

%PEV1: : 80%以上、変動20%~30%

③ 中等症持続型

頻度: 毎日

症状: 月1回以上、日常生活や睡眠が妨げられる
しばしば増悪する

夜間発作: 週1回以上

%PEV1: : 60%以上80%未満、変動30%を超える

④ 重症持続型

頻度: 毎日

症状: 、日常生活に制限、しばしば増悪

夜間発作: しばしば

%PEV1: : 60%未満、変動30%を超える

%FEV1

FEV1 (1秒量)の基準値(予測値)に対する測定値の割合です。基準値(予測値)は、性別・身長・年齢・体重から求められます。80%以上であれば呼吸機能が良好な状態とされています。

パーキンソン病治療薬

武田薬品は、パーキンソン病治療剤「アジレクト錠 0.5・1mg」(一般名:ラサギリン)を発売した。本剤は、非可逆的かつ選択的なMAO-B阻害剤であり、MAO-Bに非可逆的に結合することで、脳内のドパミンの分解を抑制し、シナプス間隙中のドパミン濃度を高めることによってパーキンソン病の症状に効果を示す。既承認のセレギリン塩酸塩(エフピーOD錠)と異なり、漸増することなく服用が可能。レボドパの併用の有無を問わず使用できる。セレギリン塩酸塩と異なり、アンフェタミン骨格を有さないため、流通・管理上の規制がある覚せい剤原料に該当しない。

薬価 0.5mg 1錠=512.1円

1mg 1錠=948.5円



副作用情報 オゼックス

大正富山から販売されているニューキノロン系抗菌薬の「オゼックス錠・細粒」は、直近3年の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「腎性尿崩症関連症例」が2例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「腎性尿崩症」が追記された。

子供の脳に悪影響

「体罰ゼロ」の育児の推進に厚生労働省が乗り出した。体罰は虐待につながる心配があるだけでなく、子どもの脳の発達に深刻な悪影響を及ぼすことが科学的に明らかになってきた。体罰の悪影響を説明する啓発チラシを都道府県に提供し、親が集まる健診などの場で活用してもらおう。日本は体罰の認識が甘く、成人男女の6割以上が容認するとの調査結果もある。同省では「子どものしつけに体罰が必要だ」という誤った認識をなくしたい。科学的な研究成果を踏まえながら、国民の意識を変える取り組みを進めていく」としている。

